

「ワイヤレスブロードバンド実現
のための周波数検討ワーキング
グループ」
第4回会合関係者ヒアリング資料

ワイヤレスブロードバンド 実現のための 周波数施策の提案

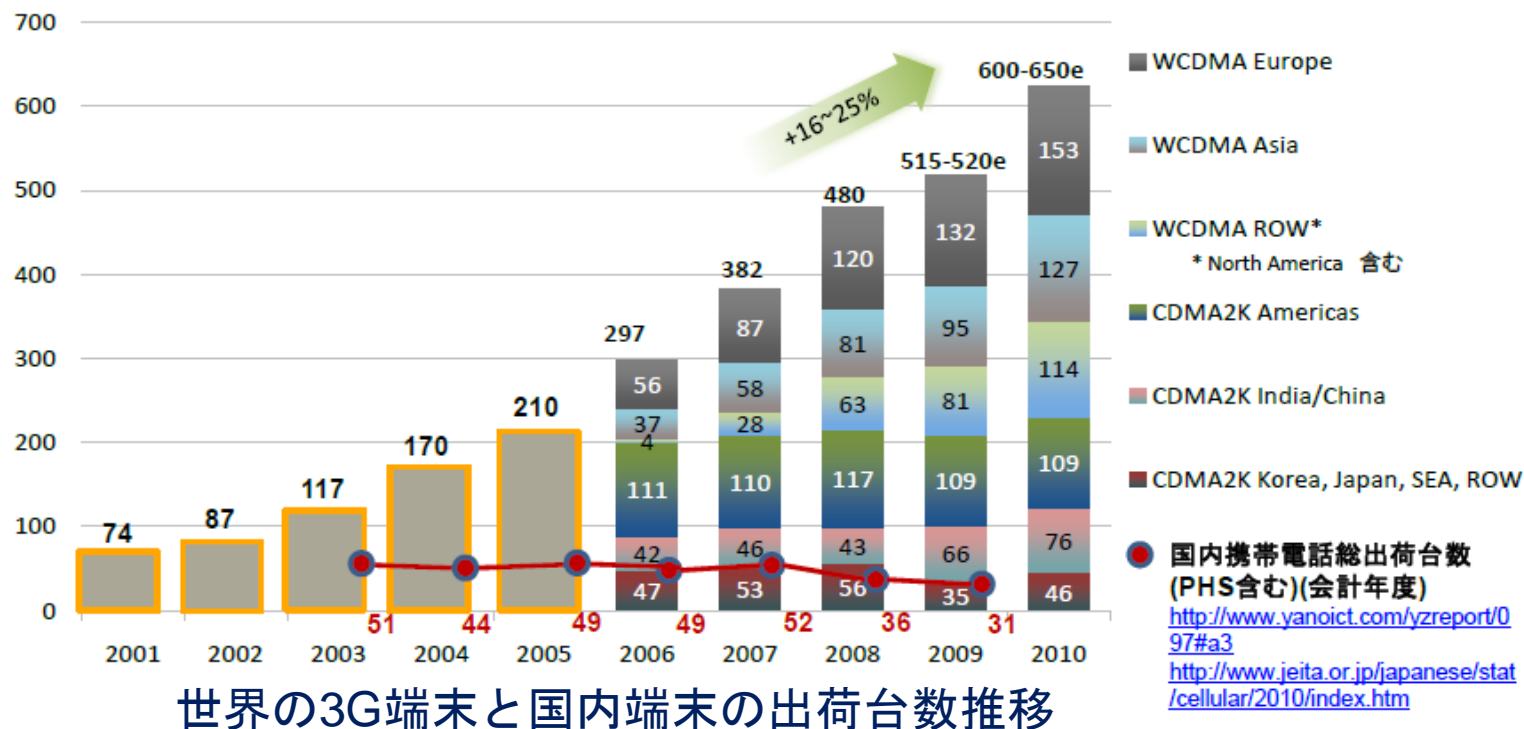
クアルコムジャパン
2010年6月28日



周波数孤立化からの脱却を！！

- 安価な世界端末と最先端サービス・アプリケーションの提供
- 事業者・ベンダの世界市場への企業活動展開を促進
- 孤立化は通信業界だけでなく他の幅広い企業活動に悪影響

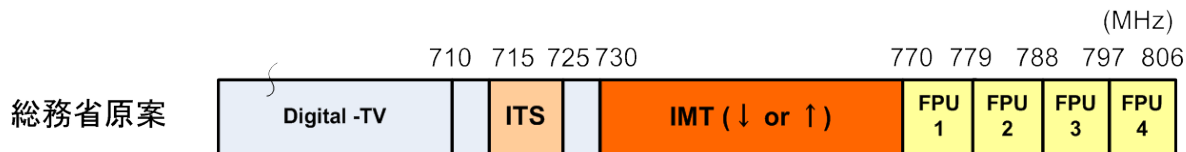
■ カレンダー一年, 単位:百万台, 2010/5現在



国際周波数協調とトラフィック増加への対応

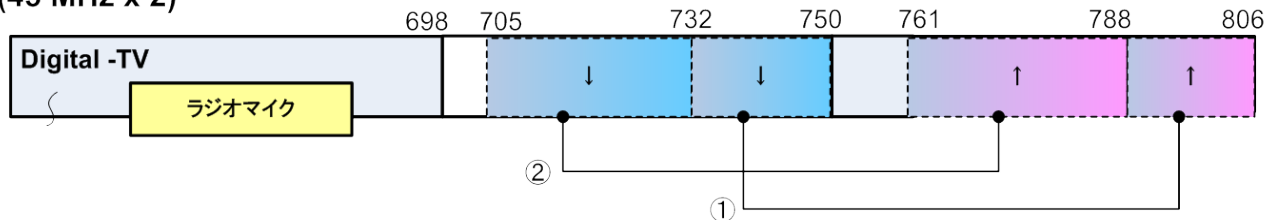
- UHF帯：ワイヤレスブロードバンドへの転用検討必要
 - 新たなブロードバンドサービスを生み出す帯域
 - 米FCCは2015年TV放送帯域120MHz転用の検討開始を表明
- 700 MHz帯：AWF周波数割当との協調が必要
 - AWF: Asia Pacific Telecommunity Wireless Forum。2010年9月周波数割当合意予定。
- 900 MHz帯：UMTS900周波数割当との協調が必要
 - 2015年には端末のUMTS900実装率100%予想
- 1.7-1.8 GHz帯：1710 – 1880 MHzの国際協調が必要
- 2.3 GHz帯：中国・インドを中心に国際的TDD帯域に変化。協調要。
 - 3GPP帯域 Band 40: 2300-2400 MHz
- 2.5 GHz帯：モバイル放送事業終了および一部事業未実施につき再編の余地あり
 - 3GPP帯域 Band 7:2500-2570/2620-2690 MHz, Band 38:2570-2620 MHz)
- 可能な限り、国際周波数協調の可能性を探る必要がある

700 MHz帯周波数割当

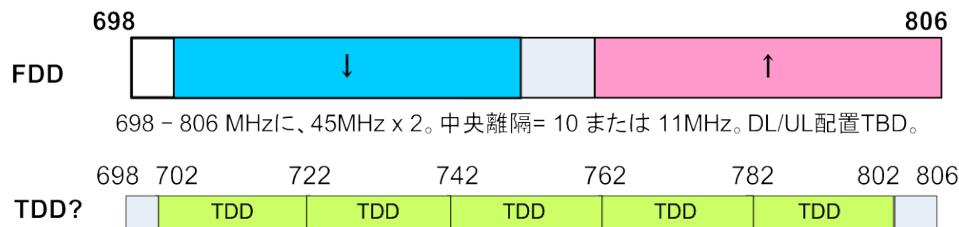


(注)FPU 2, 4 はラジオマイクA型と周波数共用

700 MHz 案 (45 MHz x 2)



AWF案^[1]



AWF: Asia Pacific Telecommunity Wireless Forum

[1] ASIA-PACIFIC TELECOMMUNITY Document AWF-8/OUT-08, 1 April 2010

AWF FDD案に準拠

①第一次割当 (2012頃)

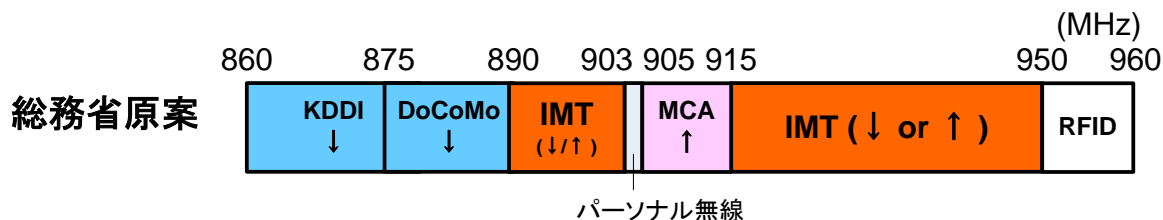
- ITSを5.8-5.9GHzまたは空き帯域へ移動
- 地デジ帯域にラジオマイク帯域を移動
- FPU3,4 を空き帯域(例: 2 GHz以上)に移動。
- ①(18MHz x 2) を割当。

②第二次割当 (2015頃)

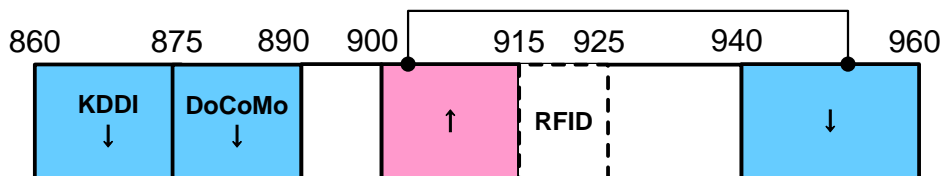
- 地デジ周波数上限を698MHzまで再リパック。
- FPU1,2を空き帯域(例: 2 GHz以上)に移動
- ②(27MHz x 2) を割当。
- 地デジとの干渉対策終了後運用開始。

【注】AWFではDL/ULの上下割当審議中。

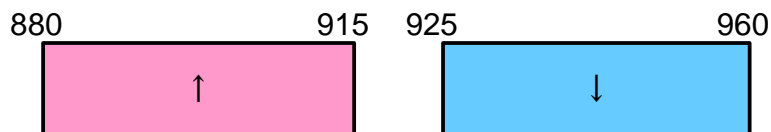
900 MHz帯周波数割当案



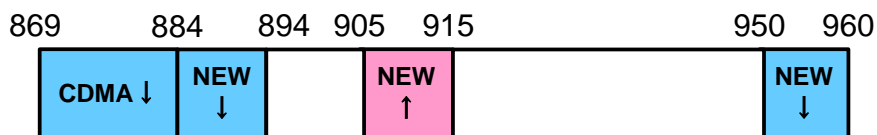
900 MHz 提案



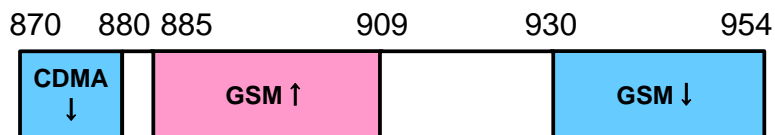
UMTS 900



韓国



中国



900MHz 割当

- UMTS900と最大限整合性を確保
- パーソナル無線の免許期限を大幅に前倒しあるいは空き帯域への移行措置を設ける
- 2012年割当を目標
- センターギャップを他方式の移動先に活用

900 MHz提案 : 15 MHz x 2 または 15MHz + 20MHz 割当

- RFIDを915-925MHzに移動。
- MCA-ULを5 MHzに縮減。空き帯域へ移行。

周波数再編加速化のための施策案

- 周波数を明け渡す事業者に対し、迅速な移行を可能にするため、必要な費用の拠出サポートを行う
 - 移行後の事業者による負担
 - オークション収入の充当
 - その他、電波利用料の用途など費用制度の改訂
- 放送周波数のワイヤレスブロードバンド事業への転用に当たっては、放送事業者が参入を希望した場合、周波数優先割当などの優遇措置が配慮されるべき
 - UHF帯は広域をカバーする広帯域の下り回線
 - 放送型サービス+モバイルブロードバンドサービス
 - モバイルマルチキャストサービス
 - 新サービスへの放送コンテンツ提供ビジネス
- 周波数が最大限に利活用されるための施策
 - 周波数使用状況の公開評価と評価指標設定
 - 他事業者への再割当や他用途への転用の仕組みの導入



》ありがとうございました